

2022年3月15日

報道関係者各位

かっこ株式会社

代表取締役社長 CEO 岩井 裕之

EC事業者の不正対策に関する実態調査を実施

～クレジットカード不正対策の義務化は7割超が認識するも「対策済み」は5割に留まる～

ネット通販における安全なインフラ作りに貢献するかっこ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 CEO：岩井 裕之、証券コード：4166、以下、かっこ）は、EC事業者の不正対策に関する実態調査を実施しましたので、その結果を公表いたします。

■調査の背景

一般社団法人日本クレジット協会の発表（※1）によると、クレジットカード番号等の情報を盗まれ不正に使われる「番号盗用被害」が年々増加しており、2021年1月～9月の被害額は223.9億円（前年同期比43.1%増）に及んでいます。また、株式会社東京商工リサーチの調査（※2）によると、2021年に上場企業が公表した個人情報漏えい・紛失事故の件数は137件、漏えいした個人情報は574万9,773件に達しております。こうした状況を踏まえ、かっこは、EC事業者におけるセキュリティ意識や不正対策の実態について、独自に調査を実施いたしました。

（※1）一般社団法人日本クレジット協会：「クレジットカード不正利用被害額の発生状況（2021年12月）」

（※2）東京商工リサーチ：https://www.tsr-net.co.jp/news/analysis/20210117_01.html

■調査概要

調査時点：2021年12月

調査対象：EC事業者（※）の担当者

有効回答数：546件

調査方法：ネット方式によるアンケート調査

（※）年商規模 10億円以上 43.0%、5-10億円未満 10.4%、1-5億円未満 16.5%、1億円未満 30.0%

■調査結果（サマリ）

【不正注文対策】

- ✓ クレジットカード不正対策の義務化は74.2%が認識している一方、実際に「対策をしている」は50.9%に留まった。
- ✓ 不正注文対策をしていない理由は、「被害が少ない」ことが33.3%と最も多く、続いて「優先順位が低い」が29.2%、「どんな対策が良いか不明」が27.8%となった。
- ✓ 「不正注文被害にあったことがある」は23.4%となり、被害内容としては「クレジットカード不正」が74.2%と最も多く、続いて「悪質転売」が34.4%、「後払い未払」が33.6%となった。
- ✓ 不正の手口としては、「架空の住所」を使った不正が47.7%と最も多く、続いて「同一人物による複数人へのなりすまし」が43.0%、「架空の電話番号」を使った不正が40.6%となった。

【不正アクセス対策】

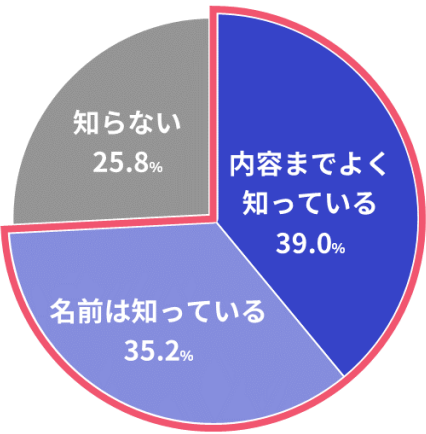
- ✓ 「不正アクセスはどのようなものか」については84.8%が認識しており、79.3%が不正アクセス対策を行っていた。
- ✓ 「不正アクセスの被害にあったことがある」と回答した24.0%のうち、「顧客のログイン情報の漏えい」に至ったケースが41.2%、「個人情報の漏えい」に至ったケースが32.8%に及んだ。

■調査結果（抜粋）

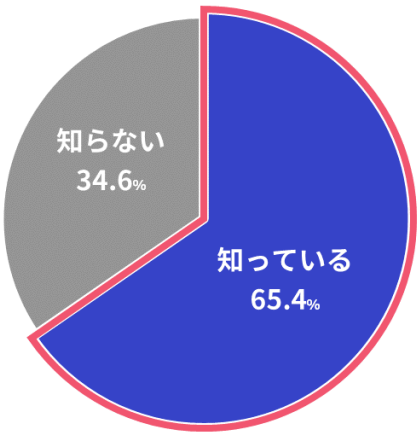
【不正注文対策】

ー認識についてー

Q：改正割賦販売法でクレジットカードの不正対策が義務化されていることを知っていますか？

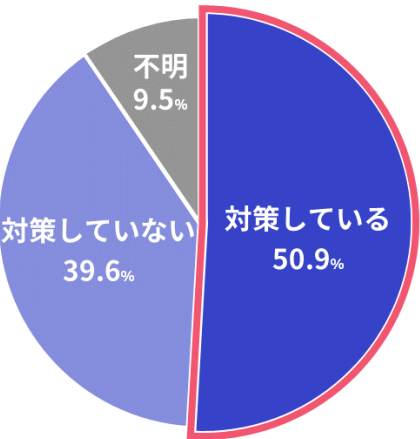


Q：クレジットカード不正の負担は基本的にEC事業者であることを知っていますか？

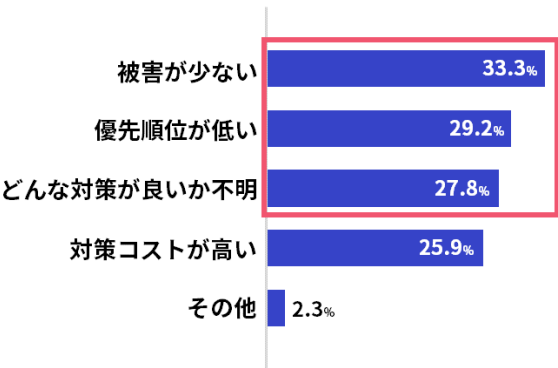


ー対策状況についてー

Q：クレジットカード不正や悪質転売などの不正注文対策をしていますか？

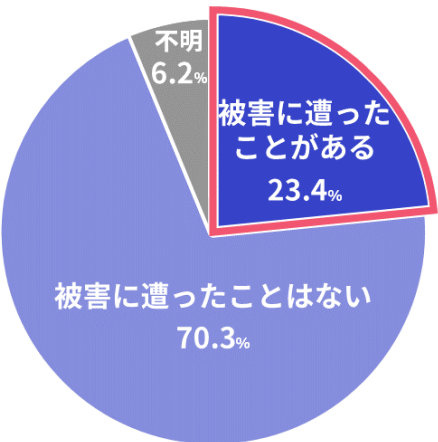


Q：不正注文対策をしていない理由を教えてください。

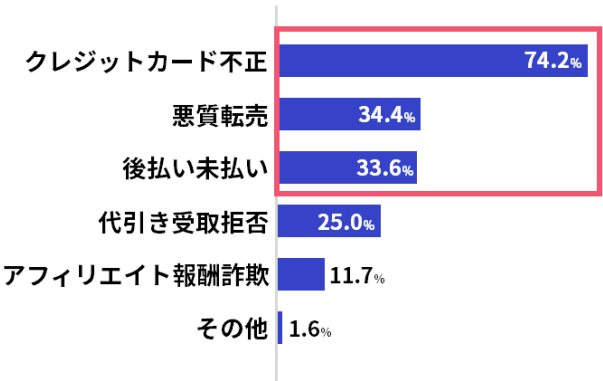


ー被害状況についてー

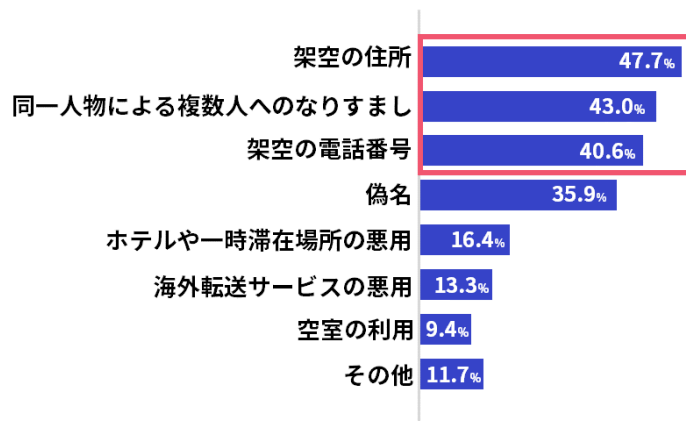
Q：不正被害（クレジットカード不正、不正転売、後払い未払い等）に遭ったことはありますか？



Q：どんな被害ですか？（複数回答可）



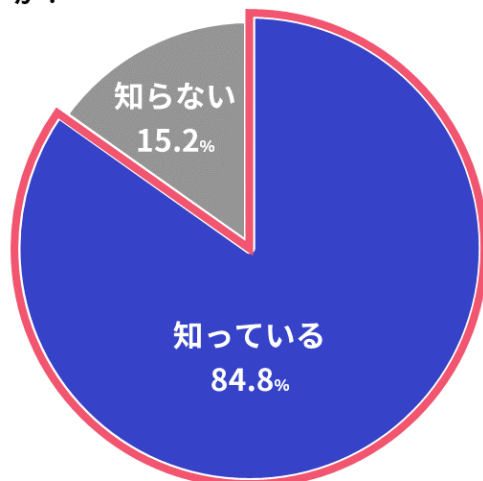
Q：不正手口としては、どんな情報や項目を使用した不正でしたか？



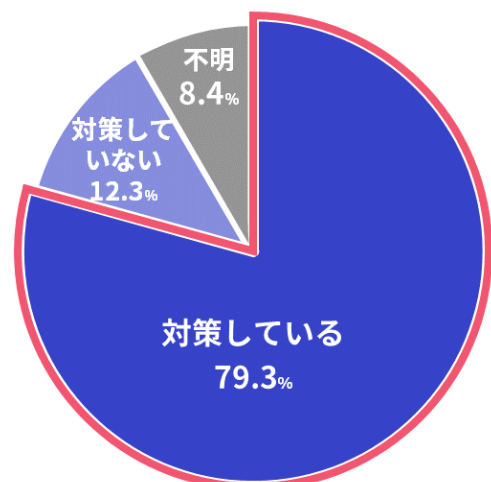
【不正アクセス対策】

－認識・対策状況について－

Q：不正アクセス（デバイスやシステムに不正ログイン）とは、こういったものか知っていますか？

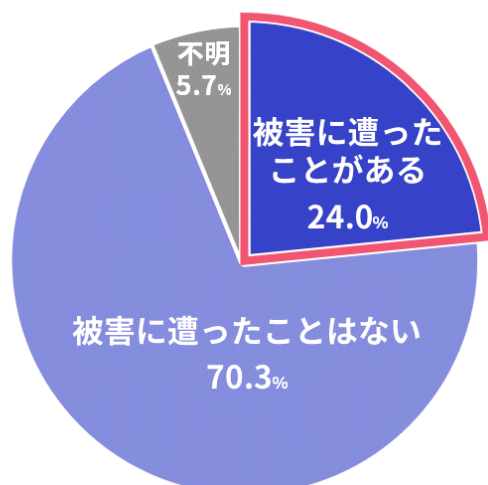


Q：不正アクセス対策はしていますか？

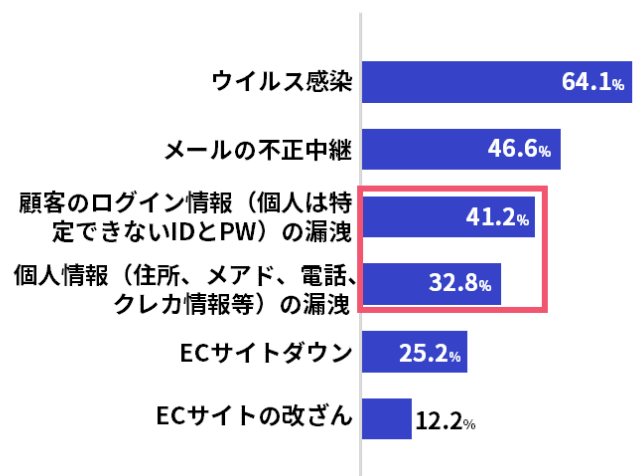


－被害状況について－

Q：不正アクセス（デバイスやシステムに不正ログイン）の被害に遭ったことはありますか？



Q：不正アクセスを受けた結果、どのような実害がありましたか？



■調査結果を踏まえた考察

【不正注文対策】

不正注文対策については、義務化等の認知は広がっている一方、実際に対策している事業者は 5 割程度に留まり、クレジットカードの「番号盗用被害」が急増している昨今の状況を踏まえると、より一層不正対策が浸透することが望めます。

また、被害状況としては、「クレジットカード不正」が最も多かったものの、「悪質転売」、「後払い未払」等の被害も一定程度発生しており、幅広い対策が求められる結果となりました。

不正注文対策の中には、不正による被害額を補填する保険/補償サービスがありますが、被害額の補填だけでは、不正そのものを排除していないため、却って不正の温床になりかねません。従って、急増する不正を根本的に対策するには、「本人認証」や「不正検知システム」といった不正そのものを排除する方策が有効と考えられます。

【不正アクセス対策】

不正アクセス対策については、8 割超が認知しているとともに実際に対策を行っており、対策意識の高さが伺える結果となりました。一方、「不正アクセスの被害にあったことがある」と回答した 24.0%のうち、「顧客のログイン情報の漏えい」に至ったケースが 41.2%、「個人情報の漏えい」に至ったケースが 32.8%となり、何らかの情報漏えい事故に及んだケースが一定割合発生していることがわかりました。

情報漏えい事故は、それを発端に顧客が犯罪に巻き込まれる可能性もあり、事業者の信用が毀損するばかりか損害賠償にも発展しかねません。不正アクセス等によるサイバー攻撃は年々巧妙化を増していることから、事業者はこれまで以上に複合的に対策を行うことが重要と考えられます。

■かっこ株式会社について

かっこは、「未来のゲームチェンジャーの『まずやってみよう』をカタチに」という経営ビジョンを掲げ、当社の有するセキュリティ・ペイメント・データサイエンスの技術とノウハウをもとに、アルゴリズム及びソフトウェアを開発・提供することで、企業の課題解決やチャレンジを支援することを目指しております。特に、EC 分野における「不正検知サービス」を中核サービスとして位置づけ、不正注文検知サービス「O-PLUX（オーブラックス）」、不正アクセス検知サービス「O-MOTION（オーモーション）」を提供しております。

不正注文検知サービス

O-PLUX

データサイエンスを活用した独自の審査ロジックにより、不正注文をリアルタイムに検知。

クレジットカードのなりすまし注文、不正転売・悪質転売、後払い未払い等の不正被害の防止及び審査業務の自動化を実現するクラウドサービスです。

不正アクセス検知サービス

O-MOTION

独自の端末特定技術と操作情報の活用により、自動プログラム（Bot）による総当たり攻撃や、不正者のなりすましログインをリアルタイムに検知。

金融サイト、通販サイト、会員サービスサイト等において、不正アクセス/不正ログイン対策にご利用いただいているクラウドサービスです。

かっこは、今後も、幅広くセキュリティサービスを提供することで不正注文や不正アクセスの対策を支援し、安心・安全なオンライン取引・ネット通販の環境づくりに貢献してまいります。

■会社概要

かっこ株式会社

住所 : 東京都港区元赤坂一丁目 5 番 31 号

代表者 : 代表取締役社長 CEO 岩井 裕之

設立 : 2011 年 1 月 28 日

URL : <https://cacco.co.jp/>

事業内容 : SaaS 型アルゴリズム提供事業

(不正検知サービス、マーケティングサービス、決済コンサルティングサービス、データサイエンスサービス)

関連サイト : 不正検知メディア「不正検知 Lab フセラボ」 : <https://frauddetection.cacco.co.jp/media/>

データサイエンスぶろぐ : <https://cacco.co.jp/datascience/blog/>

d2c ブランドの情報メディア「D2C ラボ」 : <https://cacco.co.jp/d2cart/media/>

採用情報 : <https://cacco.co.jp/recruitment/index.html>

■本件に関するお問い合わせ先

かっこ株式会社 広報 担当 : 前田

メールアドレス : pr@cacco.co.jp

電話 : 03-6447-4534

携帯 : 050-3627-8878